

# J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 3月号

## 1. 営農指導員が取り組み成果を発表

J A 鳥取西部は2月3日、本所で令和2年度営農部・営農指導員による取り組み研究課題等成果発表会を開催した。営農指導員の資質向上と地域営農の振興を図ることを目的に実施し、今回で9回目となる。

各営農センターと営農部の職員8人が、日々の営農指導で感じた担当地区の課題や問題点について新たな発想をもって取り組んだ研究の成果を、15分間の持ち時間で発表した。

同J Aからは南部伯耆営農センターの金明主任が代表に選ばれ、2月12日のJ Aグループ鳥取 県下営農指導事業成果発表会に出場し、優秀賞に輝いた。



## 2. 大山ブロッコリー産地メッセージ動画で届ける

J A 鳥取西部大山ブロッコリー料理研究会は2月5日、3月6日開催の「第25回産直虹のつどい」に向けた約2分間の動画メッセージを撮影した。

「産直虹のつどい」は消費者や生産者が集う、鳥取県生協主催のイベントである。イベントでの産直周年産地からの報告や動画メッセージは、YouTubeなどで3月15日以降に配信される予定。



## 3. リモートで白ねぎ取引協議会開催

J A 鳥取西部と鳥取県白ねぎ改良協議会は2月18日、同J A本所でJ A全農ととりや取引市場14社をリモートで繋ぎ、令和3年度白ねぎ取引協議会を開催した。

協議会では令和2年産白ねぎの生育状況や販売状況、市場情勢などの報告を行った。また、令和2年度の雪害に係る秋冬ねぎと春ねぎの出荷時期と期間、令和3年産白ねぎの生産販売計画や生産振興方策について承認した。



以上